

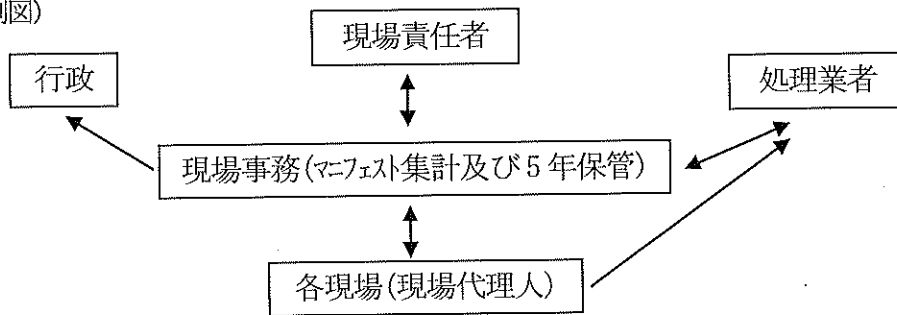
（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6 月 27 日	
札幌市長 様	
提出者	
住 所 札幌市南区川沿9条3丁目6-1	
氏 名 有限会社富士解体工業	
代表取締役 太田 良弘	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 011-571-3723	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	有限会社富士解体工業
事業場の所在地	札幌市南区川沿9条3丁目6-1
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	解体工事業 とび・土工工事業 土木工事業
② 事業の規模	売上高 6,270万円 資本金 300万円
③ 従業員数	7名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	請負工事現場 → 自社収集運搬車 → 処分場



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1040.38 t	168.37 t
	(これまでに実施した取組) 分別解体により、可能な限り選別をしている。 (別表1添付)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1000 t	160 t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組を継続する。 (別表1添付)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設リサイクル法の手順を遵守している。 分別解体では、特定品目(木くず、コンクリート、アスファルト)は分別し、再資源化施設へ搬入し委託処理している。 混合廃棄物(廃プラ、建廃、石膏ボード、ガラ陶、繊維くず)は分別し、リサイクル可能なものは再資源化施設へ搬入し委託処理している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組を継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	1609.76 t	168.37 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	1312.68 t	45.38 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1609.76 t	168.37 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 事前に各処理施設と委託契約を締結している。 各現場での分別解体を徹底し、産業廃棄物の処理を委託している。 (別表2添付)		

(第5面)

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	1000 t	160 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1000 t	60 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1000 t	160 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組を継続する。 (別表2添付)		
※事務処理欄			

別表1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 【前年度 令和5年度 実績】

産業廃棄物の種類	廃プラ	建廃	石膏ボード	ガラ陶	繊維くず
排 出 量	1.15 t 32.0 m ³	33.96 t	38.57 t	96.4 t	14.6 t

②計画 【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラ	建廃	石膏ボード	ガラ陶	繊維くず
排 出 量	2 t	33 t	38 t	40 t	14 t

別表2

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状 【前年度 令和5年度 実績】

産業廃棄物の種類	廃プラ	建廃	石膏ボード	ガラ陶	繊維くず
全処理委託量	1.15 t 32.0 m ³	33.96 t	38.57 t	96.4 t	14.6 t
優良認定処理業者への 処理委託量	32.0 m ³	33.96 t	38.57 t	t	t
再生利用業者への 処理委託量	1.15 t 32.0 m ³	t	38.57 t	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	14.6 t

②計画 【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラ	建廃	石膏ボード	ガラ陶	繊維くず
全処理委託量	2 t	33 t	38 t	40 t	14 t
優良認定処理業者への 処理委託量	2 t	33 t	38 t	t	t
再生利用業者への 処理委託量	2 t	t	38 t	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	14 t